令和８年度
大山崎町複合化施設新築工事
総合評価方式一般競争入札
結果報告書

令和８年９月９日

大山崎町

目　次

１　はじめに　.....1
２　工事概要　.....1
３　落札者決定の流れ　.....2
４　審査会の構成　.....2
５　実施スケジュール　.....2
６　落札者決定基準　.....3
７　入札参加者　.....6
８　技術評価の結果　.....7
９　価格評価の結果　.....7
１０　総合評価結果　.....8

１　はじめに

大山崎町では、老朽化した公民館等を再整備するため、この間様々な検討を進めた結果、他の公共施設とあわせて複合化施設として再整備することとしました。

公民館は築５０年を超え、アスベストによるホールの閉鎖をはじめ、雨漏りやエレベーターの未設置など、老朽化やバリアフリー等の設備整備が喫緊の課題となっていました。また、老人福祉センター長寿苑や、保健センターについても、整備後４０年を経過しており老朽化が進んでいる状況です。

こうした状況を踏まえ、会議室等の有効活用や将来的なメンテナンス費用の低減を図るため、これらを一つの複合化施設として再整備する建築工事を実施します。

本工事は、鉄骨造３階建の建築を行うものであり、適切で確実な施工技術力を有しているかを確認する観点から、価格評価と技術評価による総合評価方式一般競争入札により落札者を決定することとします。

２　工事概要

（１）発注番号　　８入札第３２号
（２）工 事 名　　大山崎町複合化施設新築工事
（３）発 注 者　　大山崎町長　前川　光
（４）工事場所　　京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目２６番地
（５）工事概要　　〇建築工事　１式
・文化会館 鉄骨造 地上３階建て
延べ床面積 3,550.49 ㎡
・作陶場　 鉄骨造 平屋建て
延べ床面積 15.20 ㎡
〇電気工事　１式
〇機械設備工事　１式
〇外構工事　１式
（６）工事期間　　契約効力発生日の翌日から令和９年１２月２５日まで
（７）予定価格　　２，６４７，７００，０００円（税込）
（８）調査基準価格　２，４３５，８８４，０００円（税込）

３　落札者決定の流れ

本工事は、価格評価と技術評価による総合評価方式により落札者を決定しました。

本町は、学識経験者等で構成する大山崎町総合評価落札方式審査委員会（以下「審査会」という。）を設置し、地方自治法施行令第１６７条の１０の２の規定に基づく総合評価方式一般競争入札における落札者決定基準を定め、入札者の技術提案等に対し審査を行いました。

審査会で技術提案の評価を行った後、開札を行い、価格評価を加えて、総合評価により落札者を決定しました。

４　選考委員会の構成

区分	氏名	所属・役職
委員長	神谷　寿一	大山崎町都市計画審議会　副会長
委員	小見山　陽介	京都大学大学院　工学研究科　講師
委員	浅田　拓	大山崎町　総務部　部長
委員	藤波　哲也	大山崎町　環境事業部　部長
委員	武田　敦史	大山崎町　教育委員会　教育次長

５　実施スケジュール

	内容	年月日
①	審査委員会（第１回） （個別開催）	令和８年６月２５日（木）
②	入札公告	令和８年７月２日（木）
③	入札参加資格確認申請書 等の配布期間	令和８年７月２日（木）から 令和８年７月７日（火）まで
④	入札参加資格確認申請書 等の受付・〆切	令和８年７月３日（金）から 令和８年７月７日（火）まで
⑤	入札参加資格確認通知書	令和８年７月８日（水）

⑥	設計図書販売期間	令和８年７月９日（木）
⑦	質問の受付	令和８年７月１０日（金）から 令和８年７月２３日（木）まで
⑧	質問に対する回答	令和８年８月５日（水）
⑨	入札書・技術提案書受付	令和８年８月２６日（水）もしくは 令和８年８月２７日（木）
⑩	審査委員会（第２回） ヒアリング、技術提案書審査、開札、評価結果報告書のまとめ	令和８年９月１日（火）
⑪	落札者決定公表	令和８年９月９日（水）

６　落札者決定基準

総合評価では入札価格と技術提案及び実績の内容の二つの面から評価を行う。入札価格点が１５０点、技術評価点が５０点の合計２００点で評価する（総合評価の 結果が同点となった場合には、入札価格点が高い参加者を選定する)。

総合評価点（２００点）＝入札価格点（１５０点）＋技術評価点（５０点）

（１）入札価格点

入札価格点は、各参加者の入札価格を次式に従って換算する。得点化の際は、小数点第３位を四捨五入し、小数点第２位までを求める。

参加者Ａの入札価格点＝１５０×（参加者中の最低入札価格／参加者Ａの入札価格）

（２）技術評価点

技術評価点は、参加者からの技術提案の内容を「評価項目及び配点」に基づ

き審査会が審査し算出する。 評価点は各審査委員の評点の平均点を用いるものとし、算出の際は、小数点第３位を四捨五入し、小数点第２位までを求める。

【評価項目及び配点】

（１）配置予定技術者

評価項目	評価内容	配点	評価基準	評価点
(1)企業の施工実績	・同種・類似工事を元請けとして施工した実績件数（共同企業体として受注した場合にあっては、出資率が 1 を出資者数で除した割合の 50%以上のものに限る。） ・図書機能、ホールを有する物件の実績件数 ・上記は別物件でも良いものとする。	3 点	5 件以上	3 点
			3 件～4 件	2 点
			1 件～2 件	1 点
			実績なし	0 点
(2)配置予定技術者の施工経験	・主任（監理）技術者の同種・同類工事を施工した経験の有無（共同企業体として受注した場合にあっては、出資率が 1 を出資者数で除した割合の 50%以上のものに限る。）	2 点	経験あり	2 点
			経験なし	0 点
	・現場代理人の同種・類似工事を施工した経験の有無（共同企業体として受注した場合にあっては、出資率が 1 を出資者数で除した割合の 50%以上のものに限る。）	2 点	経験あり	2 点
			経験なし	0 点
(3)設計理解度	・複合化施設基本設計・実施設計等の内容を踏まえて特徴と留意すべき課題等について（内容の理解、特徴把握の的確性等）	2 点	A	2 点
			B	1 点
			C	0 点
(4)業務推進体制	・業務の推進体制及び運営方針等について（妥当性・適切性及び実施効果）	2 点	A	2 点
			B	1 点
			C	0 点
小計		11 点		

（２）施工計画

評価項目	評価内容	配点	評価基準	評価点
(1)工程管理	・全体工程の明確化と進捗状況を踏まえての適切な工程管理等について（妥当性・適格性及び実施効果）	2 点	A	2 点
			B	1 点
			C	0 点
(2)品質管理	①地盤改良工事の性能確保（妥当性・適切性等）	3 点	A	3 点
			B	1 点
			C	0 点

	②鉄骨工事の品質確保（妥当性・適切性）	3点	A	3点
			B	1点
			C	0点
	③鉄筋工事の品質確保（妥当性・適正性）	3点	A	3点
			B	1点
			C	0点
	ライフサイクルコストの縮減対策（実施効果）	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(3)安全管理	・工事期間中の現場及び周辺での安全対策等について（妥当性・的確性及び実施効果等）	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
小計		15点		

（３）地域、社会への貢献

評価項目	評価内容	配点	評価基準	評価点
(1)地元事業者等の活用	・大山崎町内事業者等の活用について 評価基準の金額を満たしているか（妥当性及び実施効果等） 町内事業者の対象は工事に限らない	4点	5000万以上	4点
			1000万以上	2点
			1000万未満	1点
(2)地域貢献活動	・これまで企業として取り組んできた地域貢献活動等の実績の有無及び内容について（貢献度の高さ等）	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
小計		6点		

（４）VE提案

評価項目	評価内容	配点	評価基準	評価点
(1) 機能維持・向上	・操作性、性能、互換性が現状と同等か。機能の欠落がないか。 ・精度・効率・操作性・利便性の向上度。付加機能の有無。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(2) コスト削減（初期費用）（維持管理）	・材料費・製造費・施工費・輸送費などの初期コスト削減。 ・保守費・運用費・消耗品費・エネルギー費などの削減効果。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(3) 施工性・製造性	工具・人員・作業時間の効率、組立・製造工程の複雑さ。	2点	A	2点
			B	1点

			C	0点
(4) 部品・工程簡略化	部品点数・工程数の削減。組立・メンテナンス性の向上度。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(5) 環境負荷低減	エネルギー消費量・CO2排出量・廃棄物量・有害物質の削減度。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(6) 社会的影響	利用者満足度、企業イメージ向上効果。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
	地域・社会への影響 工事期間中における仮囲いの有効活用等	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(7) 技術的実現性	技術・材料・製造方法の実現可能性、リスクやノウハウの有無。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
(8) 導入スケジュール影響	工期・納期への影響、導入手順の複雑さ、試験や調整の必要性。	2点	A	2点
			B	1点
			C	0点
小計		18点		

合計	50点		

7　入札参加者

入札参加申請者から提出された書類を審査し、入札参加資格を満たすことを確認した。

参加申請者数	参加資格者数	入札参加者
５社	５社	青木あすなろ建設株式会社京滋営業所
		株式会社淺沼組京滋営業所
		株式会社鴻池組京都支店
		辻寅建設株式会社京都支店
		株式会社ノバック京都支店

８　技術評価の結果

令和８年９月１日（火）に開催した審査会（第２回）において、技術提案書を審査し、技術評価点を算出した。

（単位：点）

入札参加者	技術評価点
青木あすなろ建設株式会社 京滋営業所	辞退
株式会社淺沼組 京滋営業所	45.00
株式会社鴻池組 京都支店	辞退
辻寅建設株式会社 京都支店	辞退
株式会社ノバック 京都支店	30.40

９　価格評価の結果

令和８年９月１日（火）に開催した審査会（第２回）において開札を行い、入札価格点を算出した。

（単位：円・点）

入札参加者	入札価格（税抜）	入札価格点
青木あすなろ建設株式会社 京滋営業所	辞退	－
株式会社淺沼組 京滋営業所	2,345,000,000	150.00
株式会社鴻池組 京都支店	辞退	－
辻寅建設株式会社 京都支店	辞退	－
株式会社ノバック 京都支店	2,407,000,000	146.14

１０　総合評価結果

総合評価点を算出し、総合評価点が最も高い者を落札者として決定した。

（１）総合評価点

（単位：点）

入札参加者	技術評価点(a)	入札価格点(b)	総合評価点(a+b)	順位
青木あすなろ建設株式会社 京滋営業所	－	－		－
株式会社淺沼組 京滋営業所	45.00	150.00	195.00	1
株式会社鴻池組 京都支店	－	－		－
辻寅建設株式会社 京都支店	－	－		－
株式会社ノバック 京都支店	30.40	146.14	176.54	2

（２）落札者

住　　所：京都府京都市中京区烏丸通り夷川上ル少将井町２４５－１

事業者名：株式会社淺沼組　京滋営業所

代 表 者：所長　川北　博幸

（３）落札金額

２，５７９，５００，０００円（税込）